

公共施設

カウンター型磁気ループを活用し 聴覚障害者に優しい対応を

末廣 進議員(共産) 中央図書館のカウンターでカウンター型磁気ループを活用し、障害者に温かく優しいカウンター業務を確立してはどうか。

教育長 図書館では障害者サービスとして録音図書の出し出し等を実施するとともに、毎年障害者交流会を開催して意見や要望を聞き、改善に努めている。カウンターには筆談の案内を表示しているが、特にこれまで依頼がなかったこともあり、職員が利用者に対し、丁寧に温かく接することを徹底していく。

小川西保育園や障害福祉センターの改善は進んでいるのか

立花隆一議員(公明) ①小川西保育園の建てかえの計画は。②指定管理者である社会福祉協議会の障害者福祉センター運



子ども・女性

在宅での子育てを地域で支えるために

岩本博子議員(生ネ) ①恵庭市や杉並区で実施しているプレイセンター事業への評価は。②子育て支援にかかわる団体や人を育てる視点が必要では。

市長 ①親たちによって運営される遊びを中心とした幼児教育の一環としての活動で、家族がともに成長していくことを目指しており、一定の評価はできる。

都市宣言の制定に向けて行動を起こす考えはないか。

市長 ①全国の状況は把握していないが、近隣市では調布市と小金井市が宣言している。

②宣言には一定の効果があると考えられるが、現時点ではより実効性の高い対応を迅速に行うことがいじめを未然に防ぎ、速やかに解決する方策と考える。

保育需要を正確に把握し、待機児童の完全解消に万全を期せ

末廣 進議員(共産) ①この3年間の待機児童の発生をどう自己点検し、総括しているか。

②ゼロ・一歳児の待機児童解消に特別な対応が必要では。

市長 ①平成21年度に増加に転じて以降、平成22年度には100人を超え、喫緊の対応が必要な重要課題と認識している。

②平成24年度の待機児童の9割以上をゼロ・一・二歳児が占めていることから重点的な対策が必要で、来年度の新設園でもなるべく低年齢児の定員を確保するよう努めたが、今後も保育サービスの充実を検討する。

働く家庭の子どもすべてが安全に過ごせる学童クラブの拡充を

末廣 進議員(共産) ①定員を超えた場合の対応基準は。

②1年余りが経過する指定管理者による運営の検証は。

市長 ①定員を21人以上超える状況が2年連続した場合には新たなクラブ室を設置し、定員の拡大を図ることとしている。

②半期ごとに指定管理者が行う利用者アンケートの結果を参考に検証を行っている。今後、市が直接保護者から指定管理者

いじめのない明るい健全な子どものまち小平宣言について

吉池たかゆき議員(みな) ①全国の子どもの健全な育成環境整備に関する都市宣言の件数は。

②子どもに特化した環境づくり宣言、あるいはいじめ等追放

の評価を聞く調査を行い、さらなる検証を進めていく。

子ども広場は小学校区域に一カ所の設置をすべき

津本裕子議員(公明) ①現状の6カ所についての評価は。

②今後増設すべきだが見解は。

市長 ①3カ所の増設や開催日数の拡充により利用者数が平成21年度の2万7千211人から23年度は6万5千7百人にふえ、一定の評価はできると考える。

②建設中の小川町二丁目児童館が開館すると、児童館と合わせて9カ所を実施することとなり、ほぼ小学校2校につき1カ所を設置していることになるため、直ちに増設する予定はない。

都市整備

小川駅周辺はユニバーサルデザインのまちづくりを指そう

山岸真知子議員(公明) ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるために多様な市民意見の集約が必要と考えるが見解は。

市長 まちづくりビジョンの策定では地域の実情に即した観点での協議を基本とし、懇談会委員には対象地域内の自治会長や地元の商店会長を中心に参加してもらっている。また、対象地域周辺の自治会や医療・福祉施設、学校関係者、一般公募市民にも参加してもらい、多様な市民意見の集約を行っている。

生態系など自然環境に配慮したエコロード等を検討できないか

立花隆一議員(公明) ①都市計画道路等の道路整備でエコロードを導入できないか。

②道路に接する建築物に屋上緑化等を義務づけられないか。

市長 ①計画段階から工事の実施、その後の管理に至るまで自然環境等への配慮は必要であり、今後も地域の状況を踏まえながら、道路整備による影響を低減する配慮を行っていききたい。

②木造住宅では建築構造上困難なこと、また、一定規模以上の事業では都が指導しているの

で、市が義務づける考えはない。

※エコロードとは

一般に、道路整備等において地域における生態系の保全や共生に配慮された道路のこと。

喜平橋すいすいプランの進捗状況等について

浅倉成樹議員(公明) 現在の進捗状況はどうなっているか。

市長 東京都北多摩北部建設事務所へ確認したところ、平成24年度は喜平橋から南側へ向かう都道133号線の東側歩道部分での電線共同溝設置工事及びライフライン工事を実施し、同時に用地取得に向けた交渉を進めていると聞いている。また事業の終了時期は一部用地の取得が難航しているため未定と聞いている。

再び、小平駅西側の小平第一号踏切はあかすの踏切か

岩本博子議員(生ネ) ①駅周辺のまちづくりを考える上でコミュニティの再生という視点は欠かせないが、市の認識は。

②進捗状況も含め情報提供と意見聴取を積極的にすべきでは。

市長 ①駅前再開発という大きな地域課題を自分たちの身近な問題としてとらえることで、おのずと地域コミュニティが盛り上がり上がってくると考えている。

②再開発協議会に移行後も役員と連携し、広報紙の発行や機会をとらえて説明会を開催するなど情報発信に努めたい。

小平駅北口街づくり協議会の勉強会

小平第一号踏切と小平駅構内の自転車通行について

永田政弘議員(政和) ①小平駅西側にある小平第一号踏切の現状をどう考えるか。

②小平駅構内の自転車への対応をどう考えるか。



市長 ①都の踏切対策基本方針で重点踏切の一つとして抽出されており、交通問題の発生や地域の分断による生活の不便等の課題がある踏切と認識している。

②駅構内は西武鉄道株式会社の管理施設で自転車の通行は認められておらず、エレベーターの規格も自転車の利用はできない現状である。



掲載分以外の質問項目

- 〔行政一般〕
- 庁舎食堂の休業に伴い、職員に昼食用の仮食堂の提供を
- 〔医療・健康〕
- 国民健康づくり運動、健康日本21を受けた健康公園について
- 骨髄バンクドナーの支援を検討できないか
- 〔産業・暮らし〕
- ふれあいの森林づくり事業について
- 〔公共施設〕
- 仲町図書館・公民館の合築の経緯と今後について
- 〔防災・防犯〕
- 地域防災計画の見直し案の策定方法について